

第6章 経過観察の実施

6-1. 保全状況を計測するための主たる指標

構成資産及び緩衝地帯について、顕著な普遍的価値の確実な保持、ならびに修理又は復旧、維持管理、防災及び危機管理に関する体制の充実及び技術の向上を目的として、推薦書4章「保全状況と資産に与える影響」に掲げた保全状況及び資産全体に与える影響に対し定期的に経過観察を実施する。

経過観察にあたって、推薦書4.b「資産に与える要因」で整理した潜在的脅威に対し、以下の3点の観点の下、観察指標を設定する。観察指標及び測定方法は、表6-1の通り。

- ① 推薦書3章「記載のための価値証明」に記された、顕著な普遍的価値、ならびに価値を伝達するための属性（推薦書2.a「資産の内容」27頁）、真実性及び完全性が維持されているか。
- ② 推薦書4章「保全状況と資産に与える影響」に記された、潜在的脅威（開発圧力・環境圧力・自然災害・来訪者）（249頁）が資産にどのような影響を与えているか、与えたか。
- ③ 推薦書5章「資産の保護と保存管理」に記された、資産の保護、緩衝地帯の保全、資産の公開・活用に関する取組みが適切に機能しているか。

第6章 経過観察の実施

表 6-1 観察の指標と方法

項目	指標	
I.OUV を伝達する属性の保護・管理	I-1. 属性 a) 密集した多様な古墳	古墳周辺及び墳丘上から周囲への眺望の把握 (II-3,4,III-1,3) 密集した古墳群が所在する市街地景観を乱す阻害要因の把握 (III-1,2) 古墳の見え方に影響を与える地形改変に関する把握 (III-1) 街並み景観の改善・変化の把握 (III-1,2)
	I-2. 属性 b) 4つの標準化された型式	古墳周辺から墳丘への眺望の把握 (II-1,2,III-1) 墳丘の崩壊、変形状況の把握・記録 (II-1～4,V-1) 墳丘上の樹木の状態とその管理状況の把握 (II-3,IV-2)
	I-3. 属性 c) 入念で独特な葬送儀礼の証左	墳丘上から周囲への眺望の把握 (II-3,4,III-3) 墳丘上の整備のあり方の把握 (II-1,3,4) 墳丘の崩壊、変形状況の把握・記録 (II-1～4,V-1,VI-8) 墳丘内外の遺構・遺物(埴輪や葺石を含む)の保存状態の把握・記録 (II-1～4) 被害等対策のための基礎情報の把握 (II-2,3,IV-2,3,VI-8)

項目	指標	観察方法	周期	記録組織 (モニタリング機関)
II. 資産の保護・管理	II-1. 現状変更等件数及び内容	文化財保護法に基づく発掘通知、史跡の現状変更許可申請等の件数とその内容を把握する。	毎年	市
	II-2. き損件数及び内容	資産のき損件数と内容を把握する。	毎年	市 宮内庁
	II-3. 遺構の状況	来訪者数増加や自然災害等による墳丘の土砂流出、濛水による墳丘裾の洗掘、樹木の立ち枯れなどによる遺構変化を把握するため巡回を行い、写真等の記録を行う。また、巡回以外にも定点観測を行い、写真等により変化を把握する。	随時	市 宮内庁
	II-4. 調査研究にかかる報告書の発刊数	構成資産に関わる調査の報告や研究成果を掲載した報告書、紀要等の論旨と発刊数を把握する	毎年	府 市 宮内庁
III. 開発の圧力	III-1. 資産周辺の開発の申請	各種法令に基づく申請許可及びその内容を記録する。	毎年	市
	III-2. 景観を阻害する要因の観察	主たる景観阻害要因である既存不適格建築物の是正状況を把握する	毎年	市
	III-3. 景観の定点観測	来訪者のための展望場所及び立ち入りできる墳丘上からの眺望景観の阻害要因の把握	毎年	市

項目	指標	観察方法	周期	記録組織 (モニタリング機関)
IV. 環境の圧力	IV-1. 気候変動	資産周辺地域での年間降水量を把握し、局所的豪雨の発生状況を記録する	毎年	市 宮内庁
	IV-2. 樹木の異常繁茂の状況	写真等による定点観察により、資産での植物の異常繁茂の状況、樹種の変化等を把握する		
	IV-3. 鳥獣の営巣活動等の状況	資産での鳥獣の出没状況、タヌキ等による巣穴の掘削、サギ類による糞害など営巣による影響把握する		
V. 自然災害と危機管理	V-1. 風水害・地震・火災時の遺構の状況	自然災害発生時の遺構の毀損、崩壊状況の観察、把握し、写真撮影等により記録する。	毎年	市 宮内庁
VI. 来訪者への対応	VI-1. 講演会・見学会等の開催数	構成資産に関する講演会、資産内における調査の見学会等の開催数を把握する	毎年	府・市・宮内庁
	VI-2. ホームページの閲覧数	事務局が運営する世界遺産公式ホームページ及び各自治体等が解説している資産に関するホームページの閲覧数を把握する	毎年	府・市
	VI-3. 解説資料等の発行部数	資産解説のためのガイドブック、パンフレット等の発行部数を把握する	毎年	府・市
	VI-4. ガイド養成のための研修回数	地元のボランティアガイド向けに実施した研修の回数を把握する	毎年	市
	VI-5. ガイダンス施設の整備状況	施設の役割分担に応じた整備状況を把握する	毎年	市
	VI-6. 案内板等設置計画の策定と実施	案内板等設置に関する事業計画の実施状況を把握する	毎年	市
	VI-7. 便益施設の配置状況	資産の周辺地域において、トイレについては配置状況、駐車場については配置状況と受入可能台数を把握する	毎年	市
	VI-8. 来訪者数	資産への来訪者数を把握する	毎年	市